

北海道・札幌オリンピック・パラリンピック招致が本格始動 札幌市議会最大会派・自民党議員会25人が 行政と連携し『躍動する札幌創生』へ一丸！

自民党が秋元市長に政策提言 国とのパイプも最大限に活用！

札幌市議会の最大会派である自民党議員会は昨年11月、新年度の予算編成に向けた重点要望をまとめた政策提言書を秋元克広市長に提出しました。内容は①人口減少対策、国土強靱化、投資誘導による新たな都市づくり②経済活性化と雇用対策③観光振興④冬季五輪・パラリンピック開催による国際ウインタースポーツ都市の実現⑤女性活躍を支援する子育て環境の整備・充実⑥教育環境の推進・充実⑦防犯・防災、温暖化対策⑧市役所しごと改革の8項目です。

自民党議員会では秋元市政誕生後、前市長時代には難しかった市理事者との協力関係の構築、政策提言を通して、経済対策、防災・減災、観光・スポーツ振興、少子高齢化対策など、さまざまな課題を前へ進めてきました。

また、各種友好団体との政策懇談会を開くなど、連携も強化しており、12月には自民党議員会の所属議員が上京し、政府与党とのパイプを最大限に生かした都市整備に向け、新年度予算編成についての中央要請を実施しました。

これからも自民党議員会25人が行政と連携し両輪となって、地域や団体からの要望を迅速に市政や国政へ届け、一丸となって躍動する札幌の創生へ取り組んでいきます。



政府与党に対し新年度の予算編成について要請

2026年オリンピック・パラリンピックに向け 札幌市がJOCに提案書を提出

2026年冬季オリンピック・パラリンピックの開催を目指す札幌市は11月8日、大会の開催提案書を日本オリンピック委員会（JOC）に提出しました。開催地は2019年の国際オリンピック委員会（IOC）総会で決定し、実現すれば1972年大会に続く2回目の冬季五輪開催となります。

提案書には大会名を「北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季大会」とし、前回大会で使用した施設やインフラを生かしながら開催経費の削減に努め、4300～4500億円程度とすること、環境にも配慮した大会を目指すことなどがうたわれています。

札幌市議会自民党議員会では、子供に夢と希望を与え、国際ウインタースポーツ都市として街をつくり変える契機となる大会の招致に向け、全力で取り組んでいきます。



札幌でのオリパラ招致に向けた緊急総決起大会

アスベストで学校給食停止 早期再開・安全確保へ緊急要望

札幌市内の小中学校のボイラー用煙突からアスベストを含む断熱材が見つかった問題で、10月下旬、30校で給食調理が停止され、児童・生徒約1万3000人に対し、パンや牛乳のみの簡易給食の提供や弁当持参などの措置がとられました。

自民党議員会は市有施設のアスベスト調査や給食の再開を求める緊急要望書を市に提出し、適切な対応をするよう申し入れました。今後も状況を注視し、札幌の未来を担う子供たちの安全・安心の確保を推進します。



「認知症初期集中支援推進事業」で 安心な健康長寿社会をバックアップ

高齢者の10人に1人が認知症にかかるといわれ、自民党議員会では患者や家族の支援、早期発見・予防を推進しています。昨年スタートした「札幌市認知症初期集中支援推進事業」は認知症の疑いがある人に対し、認知症サポート医、地域包括支援センターなどが指導・助言を行い、必要な医療・介護サービスにつなげるもので、相談件数が急増しています。すでに中央、東、手稲、北、清田の計5区で先行実施され、来年度からは全区に拡充されます。

健康長寿社会の実現を目指し、これからも効果的な取り組みを進めていきます。



時代を見極めた都心整備で 魅力・活力ある創造都市へ

札幌市は第2次都心まちづくり計画に基づき、札幌駅周辺などの都心整備に取り組んでいます。自民党議員会では代表質問を通じて2次交通や都市アクセスの検討、新幹線開業効果を高めるための官民連携、新幹線ホーム位置問題、地下歩行ネットワークの拡充などについて市理事者に見解をただし、秋元克広市長から「都市機能の充実を図り、魅力と活力を創造する街・札幌の実現を目指したい」との前向きな答弁を引き出しました。

時代の変化や地域ニーズを見極め、道都の玄関口にふさわしいまちづくりを展開します。

